

完全週休2日実現へ

概要発表 力強く粘り強く



建設産業の労働組合組織で構成する建設産業労働組合懇話会（建設産労懇、青山敏幸会長）は7日、11月に行う「完全週休2日実現統一運動」の概要を発表した。「週2日はあたりまえ！休んでこそそのモチベーション！」をキャッチフレーズにしたポスターを作成＝写真。加盟組合の全作業所に配布・掲示するなど、完全週休2日の実現に向け意識を高めていく。

青山会長は7日に東京都内で会見し、「多くの作業所で当たり前に完全週休2日が実現し、産業で働く者が1日でも多く休日取得ができるよう連帯して力強く」と主張。時間外労働上限規制の適用から1半年が経過したことにも触れ、「長時間労働は着実に是正されてきたが、これからは完

にはいまだ長時間労働を強いるとしている。労働時間の適正な管理や申告がますます大事になる」と述べた。具体的な取り組みとして、日本建設産業職員労働組合協議会（日建協）は「4週8閉所ステップアップ運動」を継続。加盟組合内で閉所率が低い支部への重点対策検討を盛り込んだ。道路建設産業労働組合協議会（道建労協）はこれまで土曜閉所を重点的に進めてきたが、これからは完全週休2日の実現を目指す

との目標を掲げた。

建設産労懇は▽日建協▽道建労協▽全電工労連▽長谷工グループ労働組合▽基幹労連建設部会▽情報通信

設備建設労働組合連合会（通建連合）の6団体で構成。毎年6月と11月を主曜閉所強化月間と位置付け、閉所を促している。